

3つの転換

- ◇いのち・福祉、雇用、くらし、教育、中小企業を破壊する「構造改革」からの転換
- ◇大規模開発、大企業優先の経済・都市づくりからの転換
- ◇憲法否定、都政の私物化・ムダ使い、都民無視の行政からの転換

4つのゼロへ

I. 貧困ゼロをめざして

新たに権限をもった仕事・生活・福祉など都民生活に関するとりくみを総合的にすすめる「都民局（仮称）」を設置し、都民生活への支援と対策を強化します。「子ども・子育て東京ビジョン」を創り、子どもの貧困を解消し子育てを社会全体で推進します。

II. 保育待機児ゼロへ

認可保育所用地確保の補助制度創設、私立保育園への公私格差是正の再開などで、3年間で20,000人の児童が入れる認可保育所をつくり待機児ゼロを実現します。



III. 高齢者医療費ゼロへ

75歳以上の人の医療費を無料化し、65歳～69歳の人は3割負担に1割の助成を行う「高齢者医療費助成制度」を創設します。

IV. 高校進学できない子どもゼロへ

15の春を泣かせない。高校進学希望者全員が入学できるよう公私共同で実現します。

東京都の予算規模は、都民の要望に十分こたえられます

スウェーデンやカナダ一國に匹敵する一般会計6兆円、全会計で12兆円。オリンピック基金を含め1兆3千億円の基金があります。

知事が変わり、予算編成が大型開発優先から都民のくらし第一に転換すれば、都民の要望に十分こたえられます。

許せない！
沖縄・普天間基地問題で
石原知事暴言！



普天間飛行場をかかえる宜野湾市議会からの参加者

「危険な普天間基地はノー！」沖縄県民の怒りが爆発し、「移転先」探しが行き詰まり、辺野古への移転を強行しようとする鳩山政権に国民の批判が高まるなかで、石原知事は「歴史の経過を眺めれば、沖縄の人たちは本当に気の毒だけど、しかし、歴史を逆戻しするわけにはいかないわけです。だったら、もう1回もっと我慢してください」と発言（5月14日）。住民の平和と安全を守る知事として絶対に許されません。撤回せよ！！